



東広島で活躍中の地域活動団体を
のぞいてみよう！

東広島市民ミュージカル 制作実行委員会



小学生から80代まで。家族のような仲間と作る市民ミュージカル

東広島市民ミュージカル制作実行委員会は、黒瀬町で始まった町民ミュージカルで、2005年の市町村合併を機に豊栄町の団体と合流して誕生しました。現在は、東広島芸術文化ホール くららと黒瀬生涯学習センターを拠点に、小学生から80代までの幅広い世代が集い、地域に伝わる民話をもとにしたオリジナルミュージカルをみんなで創り上げています。



地域の民話を題材にした 手作りミュージカル

活動は、地域に伝わる民話を題材にしたオリジナルミュージカル制作・上演が中心で、小学1年生から80代までの幅広い世代が力を合わせて一つの舞台を創り上げています。

公演は年2回。出演者は歌やダンス、演技の練習に励んでいます。

また、舞台に立つ人だけでなく、衣装やメイク、舞台づくり、運営なども担い、自分たちの力で作品を創り上げていることが特徴です。活動は市の補助金や協賛金、参加費、公演のチケット収入などによって支えられており、多くの人の協力によって継続されています。

作品は地域の民話をもとに創作され、近年は時代に合わせてリメイクしながら上演しています。楽曲もオリジナルで制作されており、市民の手による本格的な手づくりミュージカルとして親しまれています。

人とのつながりを大切に ともに成長できる場所

誰もが安心して参加できる雰囲気づくりを心がけています。夜の練習が多いため、子どもたちだけでなく保護者にも安心して活動を任せてもらえるよう、一人ひとりに目を配り、信頼してもらえる環境づくりを意識しています。

配役は、一人ひとりの個性や成長を見ながら決定します。上手な子が主役になるのではなく、「どの役も欠かせない存在」という思いのもと、それぞれが輝ける役を考えています。また、お金を払って観に来てくださるお客様に舞台を届けるからこそ、楽しさだけでなく、時には厳しく練習に取り組んでいます。挨拶や人の話をしっかり聞くことなど、人として大切なことも伝え続けています。かつて小学生の頃に注意されていた子どもたちが、大人になって今度は後輩に声をかける立場になっています。

舞台づくりを通して、周囲を見ながら行動する力も自然と身につけていきます。一人では舞台は成り立たないからこそ、仲間と協力することや相手を思いやることの大切さも育まれています。

学校に通うことが難しい子どもが参加したり、小学生の頃の参加者が大人になって戻ってきたりすることもあり、多くの人にとって居場所になっています。世代を超えて支え合い、気が付けば家族のような存在になっています。

長年続いてきた ミュージカルを次の世代へ

約28年にわたり活動が続けてきた東広島市民ミュージカル。その歴史の中で、多くの人に関わりながら地域に根付き、受け継がれてきました。衣装やメイクなどの技術も少しずつ次の世代へ引き継がれており、以前から活動しているメンバーが若い世代へ伝える場面も増えています。一方で、脚本や演出、運営などについても、これからさらに次の世代へつないでいきたいと考えています。

また、舞台に立ってみたい人はもちろん、照明や音響補助、衣装、メイク、舞台制作など、裏方として関わりたい人も歓迎しています。みんなで一つの舞台を創り上げてみませんか。興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

気が付けば帰ってきたくなる、
そんな居心地の良さが魅力のもう一つの居場所です。



団体プロフィール

- 団体名 東広島市市民ミュージカル制作実行委員会
- 設立 2005年5月（市町村合併）
- 活動人数 約40人（出演者、スタッフ）
- 活動拠点 黒瀬生涯学習センター、東広島芸術文化ホール くらら
- 主な活動 舞台公演（年2回）

★2026年12月13日（日） 14時開演 黒瀬生涯学習センター

★2027年2月7日（日） 14時開演 東広島芸術文化ホール くらら

Instagram



X

